



広報

まつぎき

2026

2

No.741

祝令和8年松崎町二十歳の集い

1月11日 (日)

令和8年松崎町二十歳の集い



祝

令和8年松崎町二十歳の集い開催

38人の門出

1月11日に、今年度二十歳を迎える方を対象にした「松崎町二十歳の集い」を、環境改善センター文化ホールで開催し、対象者38人のうち、33人が出席しました。「記念式典」では、参加者を代表して、田中大喜さん（岩科）と山本奈央さん（岩科）が「松崎町で育ったことへの感謝と誇りを胸に、支えてくださった全ての方々への恩返しができるよう未来を担う大人として地域や社会の発展に貢献していく」と力強く宣誓しました。式典後には「はたち祭」を開催し、小中学校の思い出を振り返るおもいでタイムや小学生の時に作成したタイムカプセル開封など、当時の思い出を懐かしみながら楽しみました。

【問合せ】
教育委員会（42）3971



▲宣誓をした山本さんと田中さん（右）



▲君が代の伴奏をした小川理子さん



▲記念式典風景



▲はたち祭風景



▲みんなで記念撮影



▲まっちゃんとの記念撮影



▲中高生ボランティアの受け付け

20年前の出来事

小学校統合条例 12 月議会 で可決。
尼崎で J R 西日本車両が脱線事故。
伊豆まつざき荘リニューアルオープン。
伊豆ナンバー車発進。初の野球
国別対抗戦（W B C）王ジャパンが
世界一。

防火・防災の誓い新たに

松崎町消防団出初式

1月4日、新春恒例の松崎町消防団出初式が松崎小学校グラウンドで行われ、消防団員148人が参加しました。

式典では、土屋団長が、「昨年は町内で消防団が出動する火災が1件発生したが、幸いにも人的被害を防ぐことができた。また、自然災害においては、幸いにも町内で大きな被害は発生しなかったが、7月にカムチャツカ半島付近で発生した大地震により、広い範囲に津波注意報や津波警報が発表されるなど、自然の脅威を切に感じた1年となった。町民は安心安全な町づくりにおいて、消防団に大きな期待を寄せており、期待に応えるためにも消防団一丸となって活動強化に取り組んでいきたい」と訓示を述べ、地域防災への誓いを新たにしました。

その他、永年にわたって消防防災活動に貢献している団員や家族への表彰、規律訓練披露を行いました。

式典終了後には、ラッパ隊を先頭に消防団員、消防車両10台による町内パレードと那賀川での一斉放水が行われました。



▲団員の前で年頭の辞を述べる土屋団長

表彰

(敬称略)

静岡県消防協会会長表彰

特別功績章

1—1 班長 松原弘之

功績章

本部 本部長 奥村篤義

1—1 団員 松本祐之

1—1 団員 齋藤嘉啓

1—3 副分団長 岡村一郎

5—2 団員 菊池貴幸

特別功績章

本部 本部長 稲葉智浩

1—1 部長 藤井貴啓

1—1 団員 光岡雅浩

2—1 副分団長 関 亮一

3—1 団員 山本尚敬

功労章

3 分団 分団長 藤井美津広

1—1 団員 伊藤博信

1—1 団員 鈴木啓介

1—2 団員 土屋智揮

2—1 団員 坂本 健

1—2 団員 渡邊武司

5—1 団員 田口完央

5—2 班長 長嶋友廣

6—1 副分団長 齋藤宗久

6—1 班長 土屋龍馬

勤続功労章

本部 本部長 渡邊宏和

1—1 団員 小嶋翔太

1—2 副分団長 齋藤一磨

2—2 班長 平野祐貴

3—1 班長 伴 高志

5—2 団員 石川 竜

6—1 団員 鈴木孝宏

静岡県消防協会賀茂支部長表彰

功績章

3 分団 分団長 藤井美津広

6 分団 分団長 山本重孝

功労章

2—2 班長 平野祐貴

西伊豆消防団連合会長表彰

功労章

2—2 班長 土屋文貴

7 年勤続功労章

1—1 団員 山崎晴規

1—2 班長 藤池功二

1—3 団員 高橋 亨

3—3 班長 松本広海

4—1 班長 野口智弘

5—1 班長 菊池大助

5—2 班長 齊藤清義

松崎町消防団長表彰

善行章

本部 本部長 渡邊宏和

本部 本部長 山本和成

本部 本部長 渡邊浩明

2—1 団員 加藤亜門

小隊表彰

第5分団 第1小隊

第2分団 第2小隊

第1分団 第3小隊

町長感謝状

退団者

前3分団長 吉長政彦様

前6分団長 斉藤辰巳様



▲那賀川での一斉放水



▲ラッパ隊を先頭にパレードする団員と消防車両

【問合せ】

総務課(42) 3963

春季全国火災 予防運動

3月1日（日）から7日（土）まで、春季全国火災予防運動が実施されます。

空気が乾燥し、火災が発生しやすくなる時期となりますので、大切な家族や財産を守るために、日頃から火災予防の意識を高め、火の取り扱いなどには十分注意しましょう。

また、火災が発生した場合には、迅速な初期消火が重要で、身近な消火栓などは、初期消火に大変効果的な施設です。運動期間中、消防団による消火栓取り扱い指導が、各自主防災会（地区）から要請に基づき実施されますので、お住まいの地区で実施される場合には、積極的な参加をお願いします。

全国統一防火標語

「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

防火広報パレード

3月1日（日）9時から消防団および西伊豆消防署の消防車両による町内広報パレードを実施。

消火栓取り扱い指導

3月8日（日）※「地震・津波避難訓練」と同一日での実施を予定していますが、お住まいの自主防災会（地区）ごとに日程が異なる場合がありますので、ご注意ください。

火災を防ぐ「4つの習慣」

- ① 寝たばこは絶対にしない・させない
 - ② ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
 - ③ コンロなど使用するとき は、火のそばを離れない
 - ④ コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く
- 被害を抑える「6つの対策」
- ① 安全装置付きの機器を使用する
 - ② 住宅用火災警報器の点検・交換（10年が目安）
 - ③ 延焼を防ぐため、防災力

地震・津波 避難訓練

- ー テンなどを使用する
- ④ 住宅用消火器などの設置と使い方の確認
- ⑤ 避難経路と避難方法
- ⑥ 地域ぐるみの防火活動・訓練への参加

平成23年3月11日に「東日本大震災」が発生し、日本各地に甚大な津波被害をもたらしたことから、静岡県では、3月11日を含む10日間を、「津波対策推進旬間」と定め、「地震だ、津波だ、すぐ避難！」少しでも早く、少しでも高くをスローガンに、県内各地で訓練が実施されます。松崎町では、令和5年度まで「津波避難訓練」として、津波浸水想定17地区を対象に訓練を実施してきましたが、令和6年度より、「地震・津波避難訓練」に名称を変更し、津波に限らず、地震への対策についても訓練を通じて町全体で取

り組み、地震および津波による被害の減災ができるよう必要な対策を講じることが目的に、35の全ての地区を対象に訓練が実施されています。

訓練内容は、各自主防災会（地区）ごとに計画を立て実施していますので、お住まいの自主防災会（地区）に確認してください。

重点項目

○緊急避難場所・避難路の確認

- ・既存の標識の確認
- ・緊急避難場所および避難路を津波避難地図などで確認する など

○即時避難の実践・検証

- ・総合防災アプリ「静岡県防災」などを活用し、避難時間の計測を行う など
- 避難行動要支援者への支援体制の検証

- ・高齢者や障害のある方の支援体制の検証を行う など

○自助・共助の推進

- ・住宅の耐震化や火災防止

策の確認
・備蓄食料や飲料水、携帯トイレの備蓄、非常持出袋の確認 など

訓練実施日（統一実施日）

3月8日（日）

※訓練放送の時刻の事前周知はしません。

訓練想定

南海トラフを震源域とする大規模地震が発生し、松崎町で震度6強が観測され、大津波が襲来することを想定。

訓練内容

- ・各自主防災会の訓練計画に基づき実施
- ・エリアメールの配信



【問合せ】

総務課（42） 3963

子どもの夢をかなえる 就学援助・支援制度

町では、お子さまが等しく安心して学校生活が送れるように、就学費用の一部を補助または貸し付けしています。お子さまの通学（進学）する学校や家庭の経済状況などに応じて、利用できる制度を活用してください。

◆小中学生向け 就学援助制度

【対象】

松崎町に住民登録されていて、町内の小中学校に通う児童生徒がいる保護者のうち、生活保護を受けている方、または生活保護に準ずる程度に困窮していると認められる方（生活状況の調査を行う他、町税などの減免または、住民税が非課税であることなどが条件）。

【援助の内容】

《小学校》
学用品費 1万1630円
給食費 5万7750円

《中学校》

学用品費 2万2730円
給食費 6万9850円
（令和7年度年額）

その他、新入学学用品費・修学旅行費などが該当となる学年時に支給されます。

【申請方法】

現在通学している学校へお申し込みください。新入学児童生徒については、入学後すぐに学校へお問い合わせください。4月の認定にならない場合、新入学学用品費の支給に該当しない場合があります。この制度は、学校納付金を免除するものではありません。学校納付金は、各学校の指定する期日までに必ず全額納めてください。また、他の就学援助制度との併用はできませんので、ご注意ください。

【問合せ】

教育委員会（42） 3971

◆高校生以上向け

教育資金利子補給制度・奨学金貸付制度対象者が拡充されました。

【拡充内容】

▼教育資金利子補給制度

○世帯の年間所得金額の制限を撤廃し、対象者を拡充

▼奨学金制度

○6年制の大学生、大学院生（修士課程・博士課程）も対象者に拡充

教育資金利子補給金制度

【対象】

次のすべてに該当する方
○松崎町に住所のある方
○町が定める金融機関から教育資金を借り入れた方
○償還実績表提出時に町税などを完納している方
【給付の条件】
○利子補給の対象となる教育資金借入限度額は、修学者1人につき500万円となります。
○利子の補給額は、当該年度中に支払った利子のうち

年率3・0%以内となります。

人1回となります。

奨学金貸付制度

【対象】

保護者が松崎町住民基本台帳に登録され、現に松崎町内に引き続き1年以上居住している家庭の修学者。

【貸付方法】

年2回、指定の口座へ振り込みます（4月・10月）。申請時期によって、支払時期と回数を変更する場合があります。

○貸付金の据置期間は、卒業後1年以内となります。
○町税などを完納している保護者および保護者以外の方の連帯保証が必要になります。

【問合せ】

なお、入学一時金の貸し付けは、入学した年度に1

健康福祉課（42） 3966

奨学金貸付制度 貸付限度額

区 分		入学一時金	月 額
高等学校 (ろう学校または特別支援学校の高等部および専修学校の高等課程を含む)		100,000円	20,000円
大学 (短期大学および専修学校の専門課程)	第1学年～第6学年	200,000円	30,000円
高等専門学校	第1学年～第5学年	100,000円	20,000円
大学院 (修士課程)	最長2年	200,000円	30,000円
大学院 (博士課程)	最長6年	200,000円	30,000円
大学院 (専門職学位課程)	最長3年	200,000円	30,000円



下田税務署より確定申告のお知らせ

令和7年分所得税の確定申告について

令和7年分の確定申告（所得税の申告）は、スマートフォンとマイナンバーカードを利用した「ご自宅などからのe-Tax申告」をぜひご利用ください。国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に沿って金額などを入力するだけで、所得税・消費税・贈与税の申告書、青色申告決算書、収支内訳書の作成やe-Taxによる送信ができます。

なお、マイナンバーカードを利用してe-Taxで申告する際、マイナポータルと連携することにより、給与所得や公的年金などの源泉徴収票、医療費などの情報が自動入力されるため、より簡単・便利に手続きを行うことができます（給与所得の源泉徴収票はお勤め先から税務署にe-Taxなどで提出された場合に連携対象となります）。

また、マイナンバーカードの電子証明書は、有効期限が設けられています。有効期限が過ぎている場合には、e-Tax手続きなどのご利用ができませんので、早めに更新手続きをお願いします。

さらに、「国税庁LINE公式アカウント」では、「確定申告が必要な方」、「医療費控除」、「ふるさと納税」などのご自身のニーズに合った情報をタイムリーに受け取ることができます。ぜひ、友だち追加をお願いします。

確定申告書等作成コーナー



動画で見る確定申告



国税庁LINE公式アカウント



確定申告会場への来場をお考えの方へ

会場への入場には「入場整理券」が必要となります。

「入場整理券」は、確定申告会場での配布、またはLINEアプリを使ったオンラインによる事前発行の2つの方法で配布しています（入場整理券の配布状況に応じて、後日の来場をお願いする場合がありますのでご了承ください）。

●確定申告会場・無料税務相談所

区分	所得税の確定申告など	無料税務相談所
お知らせ	確定申告期間中は、下田税務署では申告相談を行っていません。	
日時	2月16日（月）～3月16日（月）※土日祝日を除く 土地など譲渡所得（総合譲渡所得、山林所得を含む） および贈与税の相談については、相談日を指定して 行っていますので、次の日程にお越しくください。 <u>3月2日（月）～3月16日（月）※土日を除く</u>	2月17日（火）～2月19日（木）
	9時～17時（受付終了時間16時） ※「入場整理券」が必要です。	9時30分～12時、13時～16時 ※「入場整理券」が必要です。
会場	下田市民スポーツセンター（サンワーク下田）（下田市数根761） ※当該施設への確定申告などに関するお問い合わせはご遠慮ください。	
	第一会議室、第二会議室	第二会議室

持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年分の収入（所得）を証明する書類など（給与所得、公的年金などの源泉徴収票など） ・事業、不動産所得のある方は、収入および経費が分かる帳簿や書類など（収支内訳書または青色申告決算書はご自宅で事前作成をお願いします） ・各種控除証明書、領収書など（医療費控除の明細書はご自宅で事前作成をお願いします） ・本人名義の金融機関の口座番号がわかるもの ・スマートフォン ・マイナンバーカード ・マイナンバーカード発行時に設定した次のパスワード ①署名用電子証明書（英数字6桁～16桁） ②利用者証明用電子証明書（数字4桁）
その他	確定申告会場では、基本的にはご自身でマイナンバーカードを利用したスマホ申告をしていただきます。事前にマイナポータルアプリをインストールすると、申告書の作成がスムーズに行えます。
申告と納税の期限	所得税および復興特別所得税・贈与税の申告と納税の期限は 3月16日（月） です。消費税および地方消費税の申告と納税の期限は 3月31日（火） です。

●確定申告相談会場（出張相談）

開設場所	松崎町生涯学習センター 4階 ふれあいホール
開設日時	2月20日（金）10時～12時、13時～16時（事前予約制） ※会場の混雑状況により、受け付けを早めに終了する場合があります。
その他	税務署の職員が来庁し、電子申告（e-Tax）による申告相談を行います。 ※譲渡所得（土地・建物などの売却による所得）および贈与税の申告相談は、当会場では受け付けていません。

【問合せ】 下田税務署（22）0185（代表） ※自動音声にて案内しています。ご用件に応じて番号を選択してください。

松崎町観光大使 白石康次郎氏について

経歴

1967年東京生まれ、鎌倉育ち。少年時代に船で海を渡るといふ夢を抱き、高校在学中に単独世界一周ヨットレースで優勝した故・多田雄幸氏に弟子入りし、レースをサポートしながら修行を積み、1994年、当時26歳で、ヨットによる単独無寄港無補給世界一周の史上最年少記録（当時）を樹立しました。



▲昨年12月来庁時の写真

その他、数々のヨット

レースやアドベンチャーレースでも活躍しました。

2016年11月、4年に1度開催される最も過酷な単独世界一周ヨットレース「ヴァンデ・グロープ」にアジア人として初参戦しました。

2018年10月、DMG森精機株式会社が立ち上げた日本初の外洋ヨットチーム「DMG MORIS AILING TEAM」のスキッパーに就任しました。

2020年11月、「ヴァンデ・グロープ」に再び参戦し、約3カ月の航海を経て、アジア人初の快挙となる完走を果たし、さらに、2024年11月、同大会に3度目の挑戦をし、2大会連続の完走を達成しました。

松崎町とのつながり

1991年、シドニー伊豆松崎のヨットによる太平洋単独縦断に成功しました。

また、1992年、2度目のヨットによる世界一周航海を断念した後、1993年に松崎港、岡村造船所にて改修を行い、同年10月3日、松崎港より世界一周に向けて3度目の挑戦をし、1994年3月に帰港し、当時26歳で、単独無寄港世界一周を達成しました。

松崎町観光大使

2016年8月4日、松崎町で開催した「ヴァンデ・グロープ」出場記念講演会に合わせて、松崎町観光大使を委嘱し、松崎町の魅力発信、イメージアップおよび観光振興にご尽力いただいています。

【問合せ】

企画観光課（42）3964

栄えある叙勲

瑞宝双光章（教育功労）

藤井諄二さん（宮内）

このたびの高齢者叙勲で、元松崎町立松崎中学校校長の藤井諄二さんが瑞宝双光章（教育功労）の栄に浴されました。



▲藤井諄二さん

【問合せ】
教育委員会（42）3971

文部科学大臣表彰

地方教育行政功労者表彰

松本一男さん（建久寺）

このたびの地方教育功労者表彰で元松崎町教育委員会の松本一男さんが、功労者表彰の栄に浴されました。



▲松本一男さん

【問合せ】
教育委員会（42）3971

100歳のお祝い

齋藤 福藏 さん

（大正14年12月1日生）

12月1日、深澤町長は齋藤さんの自宅を訪問し、100歳の誕生日をお祝いしました。



▲100歳を迎えた齋藤さん

今でも自分でネクタイを結んでいる齋藤さんは、深澤町長からお祝いの言葉を受け、笑顔で応え、一緒に記念写真を撮りました。
長生きの秘訣は、何でもよく食べることと、毎日岩地の海を眺めることだそうです。

【問合せ】
健康福祉課（42）3966

姉妹都市通信

北海道帯広市から

とかち帯広空港に初の
国際定期便就航

令和7年5月より、韓国の格安航空会社である

エアロK航空がとかち帯広空港と韓国の清州（チョンジュ）国際空港を結ぶ定期便を就航しました。

清州市は、歴史的建造物が多く、韓国の名物料



▲定期便を就航したエアロK航空

理サムギョプサルを楽しむことができる他、数多くの韓国ドラマの撮影地としても知られている街です。

なお、清州との定期便は、10月末からこれまでの週3往復から週4往復に増便された他、同時期に東アジアのハブ空港である仁川（インチョン）国際空港との定期便も運行を開始していて、海外からの観光客の誘致や地域住民の海外へのアクセス向上につながることを期待されています。

国際定期便の就航により、今後は観光客の増加のみならず、ビジネスなどの人とモノの交流促進による地域経済の活性化に向けて大きな期待を寄せています。

冬野菜の豆乳クリームスープ

—ここがポイント—

★豆乳を使用することで、あっさりとしつつもコクのある味わいとなり、少量の味付けでも満足感を得られます。

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量
80kcal	6.3g	3.2g	10.4g	0.7g

(1食当たり)

—材料(4人分)—

白菜・・・・・・・・200g (1/8カット)
 シメジ・・・・・・・・100g (1パック)
 ブロッコリー・・・・100g (1/2株)
 ニンジン・・・・・・・・80g (1/2本)
 水・・・・・・・・・・・・200ml
 コンソメ(固形)・・・・1個
 豆乳・・・・・・・・・・・・400ml
 片栗粉・・・・・・・・6g (小さじ2)

★メンバー募集中★

—松崎町けんこう食遊会—

健康に過ごすために楽しく食を学び、町民の皆さまに広めるボランティア団体です。
 まずは、見学してみませんか？

—作り方—

- ①白菜の軸はそぎ切り、葉は3割程度のざく切りにする。
シメジは石突をとり、ほぐしておく。
ブロッコリーは小房に分け、茎の部分は厚く皮をむき、短冊切りにする。
ニンジンも短冊切りにする。
- ②鍋に①の具材と水を入れ、具材が柔らかくなるまで、5分程度煮る。
- ③②に片栗粉を溶いた豆乳、コンソメを入れ、2～3分煮る。
- ④器に盛り付けて完成。



【問合せ】 健康福祉課(42)3966

町長コラム 第50回

町の舵取りについて

松崎町長 深澤 準弥

昨年12月14日から、二期目を担うこととなりました。多分に漏れず、地方の課題山積みの町の舵取りを任せられました。

一期目は、4年間不在であった副町長を県に依頼し、派遣していただき、対立構造にあった議会と対話を基に、是々非々の関係における町政運営の基盤づくりに邁進してきました。自分の中では、消滅可能性自治体の我が松崎町をいかにして持続可能な町にすべきか、そのためにどういったまちづくりが松崎町にとってより良い方法か、日々足掻いてきました。その結果、やっていることがわかりにくく、「何も変わら

ない」「新しい風を期待したが、残念だ」という厳しいお言葉をいただいています。日本全国の地方が同様の課題を抱えている中で、地道に、根気強く、松崎町の持続可能な在り方を目指して鋭意努力していく所存です。自分の任期中に成果を急ぐことなく、しっかりと将来の松崎町のために、土を耕し、朽ちるとも肥やしになれるように、この二期目を、覚悟を持って取り組みさせていただきます。不安定、不確実な世の中だからこそ、人を思い、つながりを大切に、幸せに生きていける地域に共にしていきたいと思います。

My Town Topics ～まちのできごと～

松崎幼稚園クリスマス会



12月18日、松崎幼稚園でクリスマス会が行われました。

園児たちは、来園したサンタさんに、「どんなお菓子が好きですか?」「好きな飲み物は何ですか?」など多くの質問をし、サンタさんの答えを聞いて驚いていました。

また、サンタさんからクリスマスプレゼントをもらい、子どもたちは大喜びでした。

「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2025」授賞式

12月19日、「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2025」の授賞式が東京都内で開催され、松崎港・サマークルーズ「親子3代で楽しめる、ちょっと懐かしい日本の夏休み」(郵船クルーズ株式会社、飛鳥Ⅱ歓迎イベント実行委員会・静岡県)が、特別賞を受賞しました。

町を挙げての温かいもてなしを実現したことや、地域社会におけるクルーズの認知度を高めることに大きく貢献したことなどが評価されました。



みどりの少年団正月飾り作り



12月21日、みどりの少年団が正月飾り作りを行い、しめ飾りを作りました。

しめ飾りの由来は、「古事記」にまでさかのぼり、歳神様を迎える家であることを表しています。

子どもたちは、講師にしめ飾りの作り方について教えてもらいながら、丁寧にしめ飾りを作っていました。

聖和保育園フラワーアレンジメント体験

12月22日、聖和保育園でフラワーアレンジメント体験が行われました。

この体験は、花育教室の一環として、賀茂地区の若手農業者で構成されている賀茂青年農業士の皆さまを講師として行われたもので、東伊豆町や河津町の特産であるカーネーション約10本を、園児たちがそれぞれの好みに合わせてデコレーションした花瓶に生けました。



My Town Topics ～まちのできごと～

関係人口ってなに？セミナー



12月23日、環境改善センター研修室で「関係人口ってなに？セミナー」が行われました。

セミナーでは、株式会社プレパパート代表の山尾信一氏、飛騨市役所の上田昌子氏、合同会社 Squad 代表の梅田直樹氏、株式会社雨風太陽の佐藤晋太郎氏が登壇し、参加した約30人の方々は、関係人口に関する世の中のトレンドや制度の動きなどについて学びました。

松崎町のうたを育てる会が役場職員に歌を披露

12月26日、環境改善センター文化ホールで、松崎町のうたを育てる会が、役場への感謝の気持ちとして、新たに役場職員向けに作詞した歌を披露しました。

松崎町のうたを育てる会は、「松崎町のうた」を町民に親しんでもらうために活動していて、令和5年10月から各地区で出前歌おう会を開催し、12月7日に岩地区で開き、町内全35地区での開催を達成しました。



雲見海岸乗り初め



1月2日、雲見海岸で、新年恒例の乗り初めが行われました。

乗り初めは、今年1年の航海の安全・豊漁・商売繁盛・千客万来などを祈願して毎年行われる行事です。

今年は、観光客や地元住民など約300人が集まって、法被姿の観光関係者がまいた縁起物の餅や菓子を多く取ろうと、夢中になって楽しんでいました。

どんど焼き

1月10日以降、町内各地で、正月の伝統行事であるどんど焼きが行われました。

各地区では、どんど焼きの1週間ほど前からしめ縄や松飾りなどを長い竹などで組んだ「賽の神」を用意し、当日のどんど焼きを迎えました。

峰区では、峰避難地広場に設置された賽の神に火をつけ、約15人が無病息災を願って立ち上る煙を眺めていました。



町の人口と世帯

(令和7年12月31日現在)

() 内は前月比

総人口	5,489人	(-10人)
男	2,603人	(-1人)
女	2,886人	(-9人)
世帯数	2,802戸	(-2戸)
転入	8人	転出 10人
出生	1人	死亡 9人

戸籍だより

おめでとうございます(出生)

地区名	前性別	保護者
池代と梧	男	峯村 信吾

お悔み申し上げます(死亡)

地区氏名	年齢	届出人
建久寺松本 辰美	97	松本 一男
那賀稲葉 菊恵	101	青田 淳子
江奈3石田 禎子	96	石田 明彦
建久寺平井マツエ	102	平井 勝美
峰輪齋藤りつ子	93	齋藤 雄二
東区関 俊策	76	関 やよい
池代山本 若江	90	山本 淳子

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。



町の交通事故

令和7年12月発生分

() 内は前年同月比

人身事故	1件	(+1)
物損事故	6件	(-10)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(+1)



鈴木 天寧さん
(西区)



土屋 璃音さん
(南郷)



渋谷 奈那さん
(峰輪)



【問合せ】
健康福祉課 (42) 3966



ぴかぴかキッズ



3歳の健診で「むし歯」がなかったお子さんを紹介します。
家族みんなで歯の健康づくりに取り組みましょう。

松崎文芸

— 短歌 —

待ちどし今日の雨音ありがとう

畑や野山に恵みのおしめり

石田 安江

小さくホーンを湾にひびかせ早朝に

岩壁はなる今新船は

岡村 芳子

暑き日にすつくと伸びて鶏頭の

くれなるの色ふかめゆくらし

杉山安紀子